

# 公明党

塚本竜太郎

## 放射線対策

**問** 昨年11月から本年1月末まで187名がホルムポディーカウスターによる内部被曝検査を受けているが、その検査結果はどのようなものか。

**答** セシウムがいずれも検出されなかった方が180名(96.3%)、セシウム130のみを検出した方は残りの7名である。この7名の預託実効線量は全てが0.1ミリシーベルト未満。この結果は、福島県で公表されている数値よりかなり低いことから、健康に影響を与えるものとは考えにくい。

**●オリピック東京誘致**

**問** 56年ぶりのオリピックの東京誘致が実現すれば、被災地からの聖火リレーが本市を通る可能性がある。本市としても情報収集等を行ってはどうか。

**答** まずは情報収集に努め、開催が決まったら積極的にプロモーションする。

**●介護マークの普及啓発**



静岡県が導入している介護マーク

**問** 「男性トイレで夫の介助をしていて不審者と間違われた」など、認知症患者を介護する家族が誤解や偏見を持たれることがある。そこで、介護中であることを周囲に知らせるため、介護マークの普及啓発に取り組んではどうか。

**答** 認知症の方の介護の場合、他人から見ると介護していることがわかりにくい。他市の事例や関係団体の意見を参考に、介護マークの導入について検討する。

**問** 現在、北千住駅まで乗り入れている小田急ロマンスカーをさらに柏駅まで延伸するメリットとして、本市のイメージアップにもつながる。実現には小田急、東京メトロに加えてJR東日本などの各鉄道会社の連携が必要となり、乗り入れダイヤの調整及び延伸に伴う事業の採算性などの内容が課題である。常磐線の東京駅への延伸における乗り入れ本数は、沿線自治体及び千葉県を通じて乗り入れ本数の確保に向けた要望活動を行っており、今後もさらに活動を強めていく。



26年度に東京駅まで延伸する常磐線

**問** 学校施設を除いた建築物で試算すると約92億円で今後30年間で毎年3億円程度改修工事に必要な経費となる。老朽化対応できなかった理由は修繕経費を積み立てる発想と財政構造がとれなかったことや管理ノウハウがなかったことである。

**●社会資本の老朽化対策**

**問** 本市は約500棟以上の建築物を所有、管理している。築30年以上経過が約60%で築20年以上は80%を超える。学校施設も児童生徒が急増した昭和40年代後半から整備され、築30年以上

# 政和会

上橋 泉

**●柏振興計画**

**問** 小田急ロマンスカー柏駅延伸計画について、また常磐線の東京駅までの延伸がいよいよ26年度に開通となるが、ダイヤ編成の交渉状況は。

**●学童の自殺について**

**問** 人生を生きていくという学童の認識において何か大きな危機が起こっている。死を最悪のケースとは認識しなくなっている。私は米国大使館占領事件でピストルを持った男に捕まったが、命がけで逃げた。大津市の中学生のケースを見ると、自殺した学童は死の危険から逃げようとしていない。学童の心で、生と死が相対化し、生きる意義が失われているのではないか。学校では、生きる意義をどう教えているのか。

**●法人運営の保育園について**

**問** 私は平成23年6月議会から毎議会、法人認可の件や運営について質問している。その法人の理事長から裁判が起これば、今年2月18日に判決が出された。建設に当たり補助金約8千万円を受け、その中の建設費は払い過ぎだから返せとの訴状である。判決は原告の請求を棄却する。

**問** 訴訟費用は原告の負担とする。被告である設計士の全面勝利である。市は今後どのような指導をするのか。

**●図書館建設について**

**問** 図書館本館は築40年が経過している。柏中学校の体育館の新築に伴い空きスペースができるので跡地を利用して図書館の新築準備に入るべきと考える。

**答** 既に新中央図書館の建設構想は見直しを行い構想そのものは白紙の状態である。今後建設

# 市民サイド

宮田清子

## ●補正予算について

**問** 安倍政権が公共事業だけに使える大型補正予算を組んだので、本市も6億円の補正予算を組んだ。同様に全国の自治体が短期間に公共事業を行うので、人件費や資材が高騰している。経費が膨らみ、国からの交付金が予定どおり来るかも疑問だ。

**答** 確かに人手不足や建設資材の高騰が広がり、入札の不調も出ている。事業内容の見直しや追加予算も考えている。

**●補助金の見直しは公開で**

**問** 補助金の見直しをした行革委員会が非公開だったため、見直しの過程が分かる資料を市に情報公開請求したら一部が黒塗りだった。そこで不服申し立てをしたら、有識者の答申を受けて全面公開したが、理由は。

**答** 交付団体と良好な関係を保ちたいという市の意向を過度に重視しすぎたが、公表した方が見直しにつながると判断をした。

# 未来会議柏

長瀬慈村

## ●市立柏病院の整備基本方針

**問** 本市の小児医療の現状と市立柏病院の具体的な方向性は。

**答** 本市の小児科医師不足は明白も、不採算性ゆえ、民間対応は困難。公立病院の使命として二次小児救急を担うため、小児科医10名体制の政策的誘導を含めた強化を優先的に取り組む。

**●健康福祉事業について**

**問** 救急医療体制見直しのポイント。他、地域医療拠点のあり方、自閉症ケアホーム、母子保

**問** 補助金の見直しをした行革委員会が非公開だったので、見直しの過程が分かる資料を市に情報公開請求したら一部が黒塗りだった。そこで不服申し立てをしたら、有識者の答申を受けて全面公開したが、理由は。

**答** 交付団体と良好な関係を保ちたいという市の意向を過度に重視しすぎたが、公表した方が見直しにつながると判断をした。

**●放射線の健康検査について**

**問** 原発事故子ども・被災者支援法の支援地域にするよう国に意見書を出したのは、子どもの健康検査が継続して必要だからというが、国から予算が来なかったらどうするのか。

**答** 市の単独では考えていない。

# 無所属

内田博紀

**●市長の政治姿勢について**

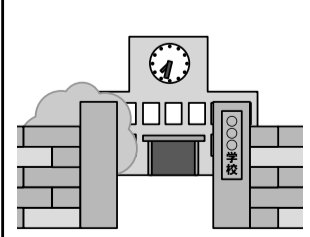
**問** 放射線対策、とりわけ子供への健康調査については国に對し、どう意見を述べるのか。

**答** 放射線被曝による健康への影響調査や、市外転出に伴う経済的負担の緩和などに関する施策の実施を求める声が寄せられていた。子ども・被災者支援法による地域指定や費用負担など

**問** 救急医療体制見直しのポイント。他、地域医療拠点のあり方、自閉症ケアホーム、母子保

**問** 放射線被曝による健康への影響調査や、市外転出に伴う経済的負担の緩和などに関する施策の実施を求める声が寄せられていた。子ども・被災者支援法による地域指定や費用負担など

**問** 放射線被曝による健康への影響調査や、市外転出に伴う経済的負担の緩和などに関する施策の実施を求める声が寄せられていた。子ども・被災者支援法による地域指定や費用負担など



助教職員の派遣を基本施策、子供が考え判断する機会を与えつつもバランスが大切と考える。